

猟友会 X 市議会

今回は猟友会の皆さんにお集まりいただき、猟師になったきっかけや大変に思うことなどについてお話を伺いました。

猟師の学校なんかできたらいいな

〈五日市猟友会について教えてください。〉

■現在は男性33人、女性4人の37人が所属しています ■主な活動は猟期に狩猟を楽しむのと有害鳥獣の捕獲もしています

〈昨今のクマの目撃情報についてどう思いますか?〉

■しょっちゅう出てます。夜の出勤もある ■保護動物なので手が出せない。ただ音を鳴らして追っ払うだけ。だからまた来るんです

よ ■いつもの年の2倍か3倍ぐらいいる気がする ■3グループ9匹、10匹、もっとかな、子どもを連れていくのが多い ■東京の山はスギ、ヒノキですから、クマの生息できる環境もつくってやったほうがいいのでは、と自分では思いますね

〈猟師になったきっかけは?〉

■単純です、親も狩猟をやっていたので ■家族がやっていて、そんなことでのめり込ん

で、ずっと今までやっている感じですが ■猟師が地元にもいるって聞いて、自分で行く作るのが好きで、肉でも取れたらいいなと思って

〈大変なことは?〉

■山で捕ったイノシシを引っ張って帰ってくるのが大変です ■仕事から帰ってきて夜にイノシシをさばいたりね

〈猟師になる人が減っていると聞きますが?〉

■わなの免許を取る人が多いけど、やっている人はほとんどいない ■わなは山を覚えてからじゃないとできないから ■誰かに教えてもらわなきゃね ■寒い中、何時間も待ちたりするんですよ、それで嫌になっちゃう ■猟師の学校なんかできたらいいな、とにかく少し体験してもらって ■免許を取った人がいろいろ勉強できるような ■教えてくれる人がいればいいけど、自分一人じゃ何もできないと思うんだよね ■私も先輩たちに本当に教えてもらったので

〈市議会や市に期待することは?〉

■ボランティアに近い状況で有害鳥獣捕獲に動いているので、活動を理解してほしい ■実際、自分の仕事を止めて行ったりもしている。定年後の人も多い



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

● 12月定例会議 開 会 会 議 議 案 審 議 ●

あきる野市の こんなことが決まりました。

12月定例会議 会議期間22日間 11月28日～12月19日
開会会議 1月7日

12月定例会議の議案は
 諮問…………… 1件
 市長提出議案……………18件
 陳情…………… 3件
 議員提出議案…………… 1件

今号では
この中から
8つを **Pick up**

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

Pickup 1

武蔵五日市駅前拠点施設の設置及び管理に関する条例を制定します。

武蔵五日市駅前拠点施設で行う事業や開館時間、使用料等が決まりました。

こんな質問・意見が出ました。

Q

休館日は市長が別に定めるとしているが、どのようにするのか。

A

年末年始を含め、年間を通して開館するが、設備点検などで臨時に休館せざるを得ない場合などは、市長決裁において休館日を定める。また、施設運営をしていく中で、季節や曜日などの利用状況等を十分把握した上で、休館日を設けることもあると考えている。

意見

この場所を使って皆さんの学習や体験、観光の展開など、いろいろながことが広がっていくように期待し、賛成する。

意見

事業の進め方、計画を立てる段階での進め方に市民が不在であったこと、拙速だったこと、条例においても、施設の目的や内容が非常に曖昧であることから反対する。



〈議案第76号〉 あきる野市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

Pickup 2

職員の給料月額及び賞与を引き上げます。

東京都人事委員会の勧告に準じ、公民較差を解消するため、職員の給料月額を2・59%、期末・勤勉手当を0・1月分ずつ、再任用職員の期末・勤勉手当を0・05月分ずつ引き上げます。全議員の賛成で可決しました。

〈議案第77号〉 あきる野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

Pickup 3

市議会議員の期末手当を0・2月分引き上げます。

賞与の引上げを行う職員との均衡を図るため、市議会議員の期末手当を0・2月分引き上げます。

※別議案で、市長及び副市長、教育長の期末手当を0・2月分、会計年度任用職員の期末・勤勉手当を0・05月分ずつ引き上げることが決まりました。

〈議案第84号〉 あきる野市観光施設に係る指定管理者の指定について

Pickup 4

秋川橋河川公園等を管理運営する民間事業者を決定しました。

秋川橋河川公園、リバーサイドパークーの谷、秋川ふれあいランドの管理運営は、一般社団法人あきる野市観光協会が引き続き行うことになりました。指定期間は令和7年度からの5年間です。

こんな質問が出ました。

Q

マナー違反の対策や事後の対応について、どのように取り組んでいくのか。

A

繁忙期には、早朝からの利用者による渋滞を防ぐため、駐車場を早く開放している。観光シーズン中の檜原街道の渋滞や五日市地域の駐車場不足は、観光客の快適な回遊や周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼす課題と認識している。そのため、観光協会や五日市警察署等と連携し、パーベキュー場の利用状況の情報発信や民間駐車場の活用などについて検討する。

意見

候補者から特に力を入れたい点などの提案はあったのか。収支状況の改善が課題であり、施設入口や周辺への案内板の設置、集客効果の期待できるホームページの編集、SNSでの積極的な情報発信を行うなど、誘客につながる取組を行いたいと提案があった。



Pickup 5

秋川溪谷瀬音の湯を管理運営する 民間事業者を決定しました。

秋川溪谷瀬音の湯の管理運営は、新四季創造株式会社が引き続き行うことになりました。指定期間は令和7年度からの5年間です。

こんな質問・意見が出ました。

Q

温泉総選挙でも話題となり、利用者の増加や収益等に関係するため、市のバックアップが必要だと考える。市の取組はあるのか。

A

市の観光イベントで、事業者と連携し認知度向上と誘客を図っている。また、平成29年から温泉総選挙うる肌部門にエントリーし、今年は全国第2位、関東第1位を獲得し、優れた泉質を広くPRしている。

意見

コロナ禍の状況から施設の利用者数を回復させ、収支を黒字にさせたことや地域社会への貢献を評価する。今後予定される大規模改修では、これまでの経験とノウハウが生か



されることも期待し賛成する。

意見

大規模改修を控えた今後5年間、事業者との連携の在り方も含め、市の観光施設としてどうしていくのか、しっかりと両者で取り組んでほしい希望もあるが、過去5年間の総括が十分でないため反対する。

Pickup 6

秋川体育館周辺の樹木を剪定・伐採します。

倒木等を未然に防止するため、秋川体育館及び市民運動広場周辺の樹木を剪定・伐採します。

こんな質問が出ました。

Q

公民館南側の公園かつ駐車場の木が対象だと聞いている。これは当初予算に組むことはできなかったのか。

A

強風による枝折れなどが続き、その都度、点検、枝落としの処理、表示による周知などの対応を行ってきた。このような状況の中、令和6年9月に発生した日野市の樹木落下事故を受け、安全管理の面から早急に対応するもの。歩道に張り出している木を中心に約50本を予定し、伐採は2本程度、その他は強剪定を予定している。樹木医とも現地確認を行い、アドバイスをもらいながら進めていきたい。



いきいきセンターリフレッシュゾーンのボイラーを早期に修理し、市民が使用できるようにするための陳情

Pickup 7

いきいきセンターのボイラー修理を早期に求める陳情は不採択となりました。

いきいきセンター水着リフレッシュゾーンのボイラーを早期に修理し、市民が使用できるようにすることを求める陳情です。反対議員が多かったため、不採択となりました。

こんな質問・意見が出ました。

Q

ボイラーの修理に関して、現在の市の考えは。

A

修繕の対応は、各施設の利用状況、立地特性など、市民への影響の度合いを総合的に考慮し対応している。また、今年度から来年度にかけ再編等の実施計画を策定する40施設については、今後、集約や移転などの再編等を実施する可能性も併せて考慮し、対応を決定する。

意見

ウォーキング用プールやお風呂、サウナなど独自の施設があり、避難所としても活躍した。リフレッシュゾーンの休止は大きな損失で、早期修理と再開が市全体をみても適切



であり、賛成する。

意見

市全体の施設等を見て、最適な解決策を市で検討し、再編を考えてほしい。長期的な視点で将来のニーズを考えながら計画してほしいと考え、反対する。

Pickup 8

多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書を提出します。

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、主権者教育の推進、会社員が立候補しやすい環境整備や厚生年金への加入、出産・育児、介護等との両立やハラスメント防止のための取組に対する支援などを国に求めるものです。賛成議員が多かったため、意見書を提出します。

・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官
財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣

こんな意見が出ました。

意見

今後、地域を担う若者や子ども世代に議員も職業選択の一つになるよう、仕組みを構築していく必要があると強く感じ賛成する。

意見

今後、市の財政状況はさらに厳しさの増すことが避けられない中、新たな経常支出を生み出す議員の厚生年金加入には賛成できない。



聞いてみたいな
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 48件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

新型コロナウイルス感染症への対策について



関口 えり子
(共産党)



Q 5類感染症へ移行後も新たな感染者が絶えない状況の中で、次なる感染拡大に備える必要があると考える。5類感染症移行後も継続している新型コロナウイルス対策は。

A 市民等への予防接種のほか、市役所では、入口の消毒液、カウンターのアクリル板の設置を継続している。

Q 新型コロナウイルスのパンデミックを経験して、市として得たものはあるのか。西多摩保健所や医療機関、医師会等との連携強化、市役所では、テレワークやオンライン会議による業務の



Q 効率化、さらに多くの市民が健康に関心を持ち、ライフスタイルの見直しや感染対策などを行っているものと捉えている。

Q 感染再拡大が起きた時に対応できるような備えとして、各関係機関等との連携など、有事への体制は整理されているのか。

A 西多摩保健所とは新設された市町村連携課と情報共有を、ワクチンの定期接種では、西多摩医師会と連携を図っており、阿伎留医療センターとは、情報を共有し、いつでも連絡が取れる体制を構築している。

他に地球温暖化対策について質問した。

債権管理の取組について



浦野 治光
(自民党志清会)



Q 歳入の根幹は市税であり、税負担の公平・公正の観点から債権管理の効果的な方策等の研究・導入を図る必要があるため、その取組を伺う。

A 各部署で管理している債権の分類や法的効果、収入未済額の内訳等を踏まえ、債権管理の具体を議論していく。また、多摩地域の市の債権管理の例規の制定状況等を参考にし、債権管理の体制等の検討を進めていく。

Q 市の債権は、法律によりその徴収の取組が変わるので、担当職員の統一性の面からも債権に関する研修を行う必要があるが、いかがか。

A 債権管理の専門的知識等を取得することは大変重要であるので、研修の充実などが必要であると考えている。



Q 債権管理の適正化の重要性から、債権管理や債権放棄等を定めた債権管理に関する条例を制定する必要があるが、いかがか。

A 条例は、債権管理に関する事務処理や債権放棄の要件等を定めることで、市民負担の公平性の確保と効率性かつ効果的な債権管理に必要であると認識している。今後、適正な債権管理を行うための体制等と併せ、条例の制定を検討していく。

各種委員会・審議会・協議会等の在り方について



辻 よし子
(無所属)



Q 本市には各種委員会等が80近く設置され、千人を超える委員が任命されている。来年までに女性委員40%以上という目標だが現状は。

A 令和5年4月1日現在の各種委員会等の女性委員の比率は34.1%と、目標には至っていない状況である。

Q 7年間の推移を見ると女性委員の割合はむしろ減少し、女性委員ゼロの委員会が1割以上を占めている。市の政策決定に権限や影響力の大きい委員会ほど女性の割合が低い。公募市民は男女ほぼ半分だが団体選出委員は4分の1。団体選出委員は必ずしも代表でなくても良いこと、女性委員の割合を引き上げる必要のあることを、各団体に伝える工夫をすべきでは。



A 各部署が候補者の推薦を選出母体である各種団体に依頼する際に、各種委員会の選任に関する指針に基づいて、そのような内容のチラシを作成し、候補者の推薦をお願いすることも有効ではないかと考える。

他に市民の知る権利と情報公開、現行の国民健康保険証の廃止について質問した。

市内の公園遊具について



大久保 昌代
(公明党)



Q 市内には都市公園が32か所、都市公園以外の公園が39か

所等あるが、長寿命化計画に基づいた今後の修繕計画や遊具の設置予定等、本市の見解は。

A 劣化の状況を考慮し、修繕の必要性が高い遊具から進める。今年度は4園で10個の遊具の更新を行う。

Q 公園のジャンルごとの遊具数は。

A 滑り台が27基、ブランコが29基、鉄棒が18基、うんてい等が10基、シーソーが6基、ジャングルジムが10基、スイング遊具が47基、複合遊具が12基、砂場が33か所



となっている。

Q 武蔵引田駅北口土地区画整理事業地内の3つの公園の内容は。

A 中心に設置する公園は盆踊り等ができるようスペースを確保し遊具を置かない。商業エリアの公園は芝生広場に。一番大きな公園は複合遊具等を設置する予定。

Q インクルーシブ遊具の設置についての市の考えは。

A 整備指針策定後、公園の在り方や利用者の意見を踏まえ設置について検討する。

他に不登校児童・生徒への支援、いきいきセンターの利用について質問した。

持続可能なまちづくりについて



増崎 俊宏
(公明党)



地域の活力を保ち、次世代に引き継ぐためには、市内での安定した雇用を確保し、働く場を提供することが不可欠と考える。

Q 近年のあきる野市内への企業誘致・企業進出の実績は。

A H・U・グループホールディングスをはじめ、武蔵引田駅北口土地区画整理地内の商業施設、物流施設、小川地区の物流施設、瀬戸岡地区に建設中の教習所などがある。

Q 半導体関連など将来有望な事業所の進出を積極的に推進していくべきと考えるが市長の今後の思いについて伺う。

A 企業誘致には需要と供給、タイミングがあり、今は土地を求めている事業者に提供できる用地をつくる準備を進めている段階であり、整ったときに募集をかけ、呼び込むことになると思っている。全ての市民が生き生きと暮らしていけるまちづくりのために、企業誘致や雇用の場の創出を積極的に推進していく。



地域公共交通計画について



国松まさき
(自民党志清会)



令和6年3月に策定されたあきる野・檜原地域公共交通計画では、路線バス運行の維持・確保、交通空白地域における移動手段の確保及び観光振興と連携した公共交通の推進の3つを計画目標に掲げている。

Q 五日市地域の交通空白地域における今後の公共交通対策は。

A これまでの取組や地域の特性を踏まえ、あきる野市地域公共交通協議会で、タクシー利用補助の導入について提案し、承認を得た。

Q 路線バス運行の維持・確保における現状と課題、利用促進策は。

A 西東京バスの数馬線・藤倉線は運行維持を図る上で、国や都の補助金が不可欠。路線バス利便性向上施策、住民に対する利用促進施策、新たな取組施策を図る。



Q 観光シーズンにおける檜原街道の渋滞と五日市地域の駐車場不足を、本市はどのように捉えているのか。

A 観光客が快適に市内を回遊できないことや周辺住民の生活環境への悪影響などに課題があると捉えている。観光協会、五日市警察署等と連携し、十里木駐車場の対策やBBQ場の利用状況の情報発信、民間駐車場の活用などについて検討していく。

高齢者支援事業について



ひはら 省吾
(自民党志清会)



東京都全体の高齢者数の増加と生産年齢人口の減少が予測される中、本市の高齢化は今後も上昇していく見通しであり、喫緊の課題と捉え、質問する。

Q 高齢者の日常の問題点にはどのようなものがあるのか。

A 介護予防に必要な活動は認識しているが、活動への不安、やり方が分からないなど、日常の運動習慣等につながりにくいことが問題点であると捉えている。

Q リハビリなどに使用するマシンの活用も、運動機能の向上には効果があると考え

A 高齢者用に開発された機器を使用し教室を開催している自治体があることは確認しており、トレーニング機器を使用することで高齢者の運動機能の向上が図られるものと認識している。

他に特殊詐欺について質問した。



スポーツ振興について



中村 一広
(自民党志清会)



健康増進、青少年の心身育成、地域活性化等の効果があることから、スポーツに親しんでもらいたいと考える。現在の取組状況は。

AQ

第2次あきる野市スポーツ推進計画に基づき、みんなでつくる「スポーツ都市あきる野」の実現に向け、成人の週1回以上のスポーツ実施率70パーセントを目指している。

Q

休日の中学校部活動の地域連携・地域移行について、現在の状況は。

A

市内6校11部活動について、6月8日からスタートした。



A

施設の規模や設備面等も含め課題がある。他自治体の事例等を研究する。

他に認知症高齢者等の見守りについて質問した。

地域包括支援センターについて



窪島 成一
(自民党志清会)



生活を支援している。

Q 新たに期待される地域包括支援センターの取組は。

A

令和7年度から保健師等の専門職を増員するとともに、新たに生活支援コーディネーターを配置する。日常生活圏域ごとにニーズや社会資源の把握などができ、より地域に密着した生活支援等のサービスの創出ができると考えている。

Q

これまで、地域包括支援センターが果たしてきた役割は。

A

高齢化の進行に伴い、複合・複雑化した相談が増加する中、総合相談窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を続けられるよう、包括的な相談支援等を行っている。また、介護予防と自立支援の視点から要支援者等の日常



学校の在り方について



村野 栄一
(自民党志清会)



Q 少子化が進行する中、小・中学校で一般的に考えられる適正な学級数は。

A

学校教育法施行規則の中で、小・中学校ともに12学級以上18学級以下が標準とされている。

Q

市内小学校で教科担任制が始まっているが設置基準と利点は。

A

基準は18学級程度の規模の学校であること。利点は高学年で専門性の高い教科指導の実現を図ること。

Q

東中学校区の東秋留・屋城・前田小学校の3校を合わせた令和12年度の各学年の学級数の見込は。

A

1・2年生が各3学級、3年生から6年生までが各4学級となり、合計で22学級と見込んでいる。



Q

東中学校付近に、小中一貫校として現在の3校が入り、秋川体育館や公民館も新設し、共有で児童・生徒と市民が使うことができるように計画するとしたら、どの程度の費用がかかるのか。

A

3校の学級数と体育館・公民館は学校施設と同額の単価を適用し、試算した施設整備の総額は、最低でも約110億円となる。

他に窓口サービス向上の必要性、消費生活相談について質問した。

御堂中学校西側市有地の利活用について



堀江 武史
(自民党志清会)



Q 中嶋市長になり2年が経過した。市長は選挙の際、選挙公約の一つとして、未利用公用地の有効活用を掲げていたが、選挙の争点であった御堂中学校西側市有地の有効活用について検討はしているのか。

A

未利用公用地については、条件が整った箇所から売却や貸付けを積極的に進めている。小中野地区の元市営住宅跡地も貸付けにより、小規模多機能施設が整備された。また、御堂中学校西側の市有地は、前市長が特

Q

市長の任期中に目処を立てるというような思いはあるか。

A

あらゆる公約について市長には4年間の期限があるので、その中で一つ一つ目処をつけられるよう努力していきたい。

他に秋川駅周辺のまちづくりについて質問した。



いじめ・不登校等について



よしざわゆたか
(自民党志清会)



本年10月31日に文部科学省が発表した、小・中・高等学校などが認知したいじめの件数が約73万件で、生命や心身への被害や長期欠席などを含む重大事態は1306件と、いずれも過去最多となった。また、問題行動・不登校調査で、不登校の小・中学生が約34万人と過去最多になったとの報道があった。

校は299件増加し504件、中学校は83件増加し114件となっている。また、令和6年度、いじめ防止対策推進法に規定する重大事態が1件発生し、いじめ問題調査委員会において調査を行っている。

本市における小・中学校の不登校の現状は、

令和6年10月末時点の市内小・中学校全体における不登校の児童・生徒数は、令和5年の同時期と比較し、小学校は48人減少し72人、中学校は46人減少し130人となっている。

他に休日の部活動の段階的な地域移行について質問した。

令和6年10月末時点の市内小・中学校全体における不登校の児童・生徒数は、令和5年の同時期と比較し、小学校は48人減少し72人、中学校は46人減少し130人となっている。

令和6年10月末時点の市内小・中学校全体におけるいじめの認知件数は、令和5年の同時期と比較し、小学

令和6年10月末時点の市内小・中学校全体におけるいじめの認知件数は、令和5年の同時期と比較し、小学



他に休日の部活動の段階的な地域移行について質問した。

ミドルエイジ（40〜50代）の人々の健康課題について



原田ひろこ
(公明党)



更年期障害の負担を和らげ、安心した生活と働き続けられる対策が必要と考える。

他の自治体は、啓発資料の配布、相談窓口体制の充実、講習会等を実施している。本市も必要ではないか。

い環境整備の取組が始まった。市民や職員、市内事業者等に必要な取組を進めるため、積極的に研究してはどうか。

他自治体の取組を参考に、市ホームページに掲載するとともに、保健師等の専門職による健康相談や相談窓口の周知に取り組んでいく。

都産業労働局のホームページに、健康課題体験談や企業の取組事例、短編動画を配信する等の取組が進められていると認識している。

SMIスコア、AWSスコアの活用は市民の健康管理に役立つと考えるが、いかがか。

他にアピアランスケア、小・中学校の学習環境、闇バイト強盗や特殊詐欺等の未然防止対策について質問した。

自らの更年期症状の状況を知る一つの指標として、有効なツールと考える。ホームページ掲載時にチェックシートの活用や女性の健康推進室ヘルスケアラボへのリンクについて検討する。

他にアピアランスケア、小・中学校の学習環境、闇バイト強盗や特殊詐欺等の未然防止対策について質問した。

自らの更年期症状の状況を知る一つの指標として、有効なツールと考える。ホームページ掲載時にチェックシートの活用や女性の健康推進室ヘルスケアラボへのリンクについて検討する。

他にアピアランスケア、小・中学校の学習環境、闇バイト強盗や特殊詐欺等の未然防止対策について質問した。

東京都では、フェムテックを活用し、女性が働きやす



※SMIスコア 更年期症状の程度を自己採点で数値化する簡略更年期指数。
※AWSスコア 男性更年期障害の診断に用いられる質問票。
※フェムテック 女性の健康を支える商品やサービス。

公共交通について



たばたあずみ
(共産党)



公共交通の実証実験が行われ、本格導入の方針がまつまりつつある。

盆堀・深沢地域ではタクシー利用補助の導入の方針が決定された。SNSを活用した乗合方法の啓発などは考えているか。

有効な利用方法の一例としてそうした具体も示しながら、意見・要望を踏まえて適切に対応する。

乙津・青木平・小松平・グリーンタウン・パークハイツなどの交通不便地域が今回の本格導入の検討対象にならない。公共交通空白地域の定義見直しは当然やらないのか。

新たな課題等を踏まえて継続して検討し、今後、交通計画と連動させて客観的に検証していく。

地域公共交通への補助を国や都に要望しているのか。交通事業者や近隣市町村と連携しながら取り組む必要があると考えている。

他にマイナンバーカードの活用について質問した。

他にマイナンバーカードの活用について質問した。



図書館における一日館長について



子籠 敏人
(自民党志清会)



こどもの読書週間などに合わせて、こども館長や一日館長を任命する取組が各地の図書館で見られている。一日館長に任命することで、読書や図書館、ひいては図書館行政に対して、一段と意識が醸成される機会になるのではないかと考える。

他に協働のまちづくり、交通・防犯対策で使用している広報車、市内の公園、住まいの終活について質問した。

一日館長については、子どもたちが図書館の責任者として運営に携わり、その魅力を肌で感じ愛着を持ってもらうことや、図書館の運営やサービスに対して提案を受けることで、利用促進やニーズに合ったサービスの提供につなげることなど、相互に良い効果が期待できると認識している。近隣自治体の実施状況などの情報を収集し、事業の実施に向けて検討していく。

他に協働のまちづくり、交通・防犯対策で使用している広報車、市内の公園、住まいの終活について質問した。

一日館長については、子どもたちが図書館の責任者として運営に携わり、その魅力を肌で感じ愛着を持ってもらうことや、図書館の運営やサービスに対して提案を受けることで、利用促進やニーズに合ったサービスの提供につなげることなど、相互に良い効果が期待できると認識している。近隣自治体の実施状況などの情報を収集し、事業の実施に向けて検討していく。

他に協働のまちづくり、交通・防犯対策で使用している広報車、市内の公園、住まいの終活について質問した。

一日館長については、子どもたちが図書館の責任者として運営に携わり、その魅力を肌で感じ愛着を持ってもらうことや、図書館の運営やサービスに対して提案を受けることで、利用促進やニーズに合ったサービスの提供につなげることなど、相互に良い効果が期待できると認識している。近隣自治体の実施状況などの情報を収集し、事業の実施に向けて検討していく。

他に協働のまちづくり、交通・防犯対策で使用している広報車、市内の公園、住まいの終活について質問した。



小・中学校給食事業について



松本 ゆき子
(共産党)



学校給食無償化が導入されることとなり嬉しく思う。そこで、改めて学校給食について伺う。

Q 令和3年度から令和5年度までの各年度における残食量と残食率は。

A 令和3年度が約63tで約14%、令和4年度が約65tで約15%、令和5年度が約54tで約13%となっている。

Q 残食量を減らすために取り組んでいることは。

A 献立連絡会で給食担当の教諭から意見や感想を聞き取り、献立や調理方法に反映している。残食を出さなかったクラスに表彰状を授与し、意識の向上につながるような取組を実施している。

Q 千葉県流山市の市立小・中学校の児童・生徒は、飲み終わった牛乳パックを洗い、開くなどのリサイクル作業を行っている。地球環境のためだけでなく、子どもたちのSDGsへの意識が高まると考える。本市ではどのように処理しているのか。

A 学校給食で提供する牛乳の紙パックは、食物アレルギーを有する児童への配慮や感染症予防などを踏まえ、焼却処分している。



食と農への考え方について



しょうじ さとし
(リメンバー)



Q 学校給食において、特別栽培米を使用した際の市の支出は一食あたり3円程度の増額という理解で良いか。

A 見込みのとおり。

Q 91万8333、153、この数字は、議会初日の審議を経て上がった、議員、市長、副市長、教育長の給与費、275万5千円を先程の一食あたり3円で割り返した数字。仮にこの予算があれば、91万8333食分、本市の6千人の子どもたちに特別栽培米を153日分提供できる。年間で提供する全量に近いものと考えて、特別栽培米の財源が、なぜ、主食以外の提供メニューの質を落とすことで、費用増加分を補填せざるを得ないと考えなのか。

A 学校給食については、国が示す基準を満たす食事を限られた予算の中で提供する



必要がある。特別栽培米を導入する必要性や必然性がない現状、市としては負担増となる予算措置を行ってまで特別栽培米を使用する考えがないので、もし、特別栽培米を使用するのであれば、予算の範囲内で対応せざるを得ず、おのずと、主食以外の食材の質に影響が及ぶものと考えている。

市政運営の財政健全化について



清水 晃
(明るい未来)



Q 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率について、改善が進んでいることは承知しているが、新学校給食センターの整備や武蔵引田駅北口土地区画整理事業で多額の起債を行うことから、今後、悪化することもあるが、見通しはどうか。

A 市債の償還が順調に進んでいることから、着実に改善してきている。今後も古い起債から順次償還が終了するので、基本的な改善傾向は続くと思込んでいる。しかし、新学校給食センター整備事業では多額の起債が見込まれること、今後、施



設の老朽化対策などにも取り組む必要があることから、一時的に比率が上昇する年度が生じることも想定される。このため、引き続き新規発行の抑制、交付税算入のある有利な起債を活用するなど、適正な起債管理に努める。

他に新学校給食センターに係る整備、武蔵引田駅北口土地区画整理事業について質問した。

気候変動における食とエネルギーについて



中村のりひと
(明るい未来)



Q 来夏に向けた熱中症予防対策は。

A 広報あきる野等を通じ、水分補給や適切なエアコン使用などの注意喚起を実施してきた。令和6年度からはクーリングシエルターを開設した。来夏も、これらの取組を継続する。

Q 本年どおりの取組を実施するということか。何か新たな対応策は考えているのか。

A 命を守るのが何よりであるが、単にエアコンを適切に使用してとなると、更なる温室効果ガスの排出につながる。ゼロカーボンシティを打ち出している本市においては、公共施設の断熱化が必要と考えるがいかかがか。令和6年度の取組を基本として、令和7年度も継続して進める。特に令和6年度から開設したクーリングシエルターの積極的な活用



を促し、市民の安全確保に努める。第五次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定し、あきる野市公共施設等総合管理計画と連携・整合を図りながら、公共施設の断熱化も、施設の新設・改修の機会を捉え、実施したいと考えている。

他に市民と協働のまちづくり、情報公開、情報共有について質問した。

あきる野市議会活動レポート

中学生の主張大会最優秀賞受賞者の作品発表を行いました



1月7日の開会会議に先立ち「第29回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会」の中学生の主張大会で、最優秀賞を受賞した東中学校2年生の川本桜子さんが「皆に幸あれ」について発表しました。議場には多くの方が見学に訪れ、川本さんに大きな拍手が送られました。

あきる野市総合防災訓練



11月17日に屋城小学校であきる野市総合防災訓練が行われ、議員が参加しました。当日は、多摩東部を震源とする直下型地震が発生したことを想定し、参集訓練やタブレットを使った報告訓練等を行いました。

視察受け入れ



議会だよりのリニューアルの経緯と編集について、5市町議会の視察を受け入れました。広報広聴委員が説明を行い、終了後、質疑応答や意見交換を行いました。(北海道栗山町議会、愛媛県伊予市議会、宮城県登米市議会、千葉県勝浦市議会、茨城県笠間市議会)

行政計画に関する報告



環境建設委員会及び福祉文教委員会において、各行政分野に係る5つの基本的な計画(行政計画)の策定について市から報告があり、常任委員から意見がありました。

- ・あきる野市観光推進プラン
- ・あきる野市下水道事業経営戦略
- ・あきる野市地域保健福祉計画
- ・第2次あきる野市自殺対策推進計画
- ・あきる野市子ども・子育て支援総合計画

快適な住環境について



天野 正昭
(自民党志清会)



快適な生活を送る上で、住環境を守ることが行政の重要な仕事であると考えます。

言などを行っている。

住環境の良し悪しがある野市の印象まで変えるものであり、観光や移住・定住、ふるさと納税等の重要施策にも影響を与えることとなる。快適な住環境を守る上で苦情の対処を間違えう訳にはいかない。

苦情を改善するためにどのような対策を行っているのか。苦情の申立てがあれば、職員が現地に赴き、申立ての事実確認に基づき対応する。民事的な問題で市が直接指導する立場にない場合は、問題解決に向けた説明や助



Q

あきる野市のごみ屋敷なるTV番組を見たことがある。非常に不快であったが、今後対応できないか。

A

町内会・自治会や関係部署と連携し、堆積物が通行を妨げている等のきつかけを捉えながら、ごみ屋敷の解消と居住者が抱える生活上の課題解消に取り組む。

Q

昨年、雪で五日市線近くの竹が倒れ電車が止まることがあった。この冬も降雪が予想されるが、市は対応しているのか

A

管理者であるJRとの間で議論と調整を複数回行い、倒木・倒竹対策としてJR五日市線の沿線約8千平方メートルの除草と枝払い作業をJRが実施した。

主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等 番号	件 名	議決 結果	自由民主党 志清会 (11人) ※1	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野 市議団 (3人)	明るい未来 を創る会 (2人)	くさしぎ (1人)	リメンバー (1人)
議案 74	あきる野市武蔵五日市駅前拠点施設の設置及び管理に関する条例	可決	○	○	× (1人欠席)	○	×	×
議案 77	あきる野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	×	×	×
議案 78	あきる野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	×
議案 79	あきる野市教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	×
議案 84	あきる野市観光施設に係る指定管理者の指定について	可決	○	○	○ (1人欠席)	○	○	○
議案 85	あきる野市十里木・長岳観光施設に係る指定管理者の指定について	可決	○	○	○ (1人欠席)	○	×	×
議案 86	令和6年度あきる野市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	×	×
陳情 6-10	いきいきセンターリフレッシュゾーンのボイラーを早期に修理し、市民が使用できるようにするための陳情	不採択	×	×	○	○	○	○
議員提出 議案 6-4	多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書	可決	△	○	×	○	×	×

※1 議長は賛否に加わらない。

○：賛成 ×：反対 △：会派で賛否が分かれたもの